

きこえない・きこえにくい

お子さんを持つ ママ・パパへ



お子さんの成長
一緒に考えてみませんか。

 一般財団法人 全日本ろうあ連盟
Japanese Federation of the Deaf

ママ・パパへのメッセージ

「お子さんの聞こえについて、もう少し詳しい検査をしましょう」

「お子さんは耳が聞こえづらいようです」と言われたとき、子育てを前にしているいろいろな思いが駆けめぐったことと思います。

聞こえていない
聞こえていない

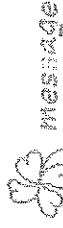
このまま
どういふふうには
育って行くの
だろうか

子どもと
どう接すれば
いいの？

どこに
相談すれば
いいのだろうか？

このパンフレットを通して、お子さんに合った成長を、

一緒に考えていきましょう。



message

この世界には、聞こえなで、聞こえにくさをもちながら暮らし、社会の一員として活躍している人たちが多数います。会社員や主婦、弁護士、医師、大学教授、薬剤師、教師、職を譲り、俳優、バス運転手、プロスポーツ選手とさまざまな職業があります。

かつては、手話が敬遠され、社会の壁もたくさんありましたが、先人たちの努力によって、聞こえない人の活躍の場はどんどん広がっています。みなさんのお子さんが大人になる頃には、パイロットや外交官、国会議員など、新たに活躍する人も誕生しているかもしれません。さて、このパンフレットでは、お子さんが聞こえにくく聞こえないと診断された親ごさんに、療育や教育、言語やコミュニケーションに選択肢があることをお伝えします。「赤ちゃんが聞こえなくどうしよう」という不安から、「この子は聞こえないけど大丈夫」と思うきっかけを得てほしいと思います。

病院では、補聴器や人工内耳についての説明を受けていることでしょうか。そして、ここでは、お子さんの先輩たちの声、みなさんの先輩である聞こえない子を育てている親ごさんの声を紹介いたします。だれも一人も残さず、後になって手話という選択肢があることを知らなかったということがないようにと願い、お手元にお届けします。

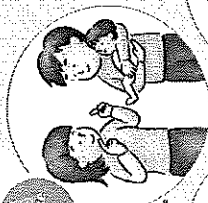


コミュニケーションと言語

お子さんは家族や周囲とのコミュニケーションですくすく育ちます。
手話は補聴器や人工内耳と一緒に使うことができます。
*手話はいよいよ見えるコミュニケーションを強めます。手話と補聴器や人工内耳を組み合わせることが大切です。

手話

聞こえにくい子どもが自然にアプローチできる「見てわかることば」です。難聴と診断されたその日から使うことができます。



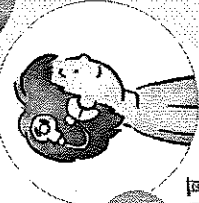
補聴器

病院やろう学校・療育施設で補聴器をあわせ、聞こえのことばを育みます。生後半年には聴力測定をして使えます。



人工内耳

高度難聴で補聴器の効果が少ないときは、1歳から人工内耳の手術を選べます。補聴器と人工内耳も一緒に使えます。



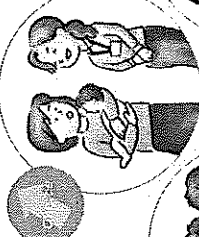
保育園・幼稚園

保育園や幼稚園に在籍しながら、療育やろう学校の教育相談、クリニックなどに通い、聞こえにくい子どもと交流しながら育めます。



ろう学校の早期相談

0～2歳児の子育てや両親の支援、情報提供を通して、子どものことばと発達を育みます。個別とグループ指導があります。

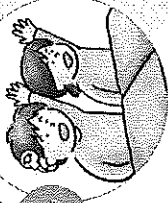


教育

手話や聴覚を活用した学習やこころの支援が大切です。

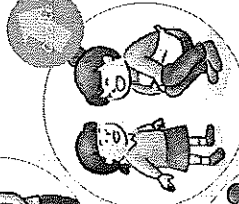
難聴特別支援学級

地域の難聴学級に在籍して、いくつかの科目で通常学級に行き、聞こえる友だちと一緒に授業を受けられます。



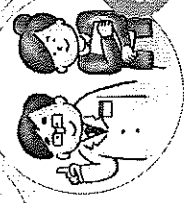
児童発達支援療育施設

0歳から就学前まで、難聴児の特性に合わせて遊びを通してことばや概念を育めます。



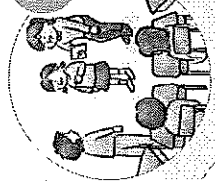
クリニックなど

総合リハビリテーション施設や地域のクリニックで言語指導や発達支援をしているところもあります。



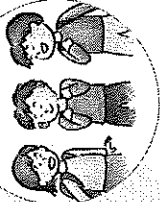
ろう学校 (聴覚特別支援学校)

聞こえのケアや手話を使ってよくわかる授業や学校生活を送ることができます。同じ仲間が集まる大切な場所です。



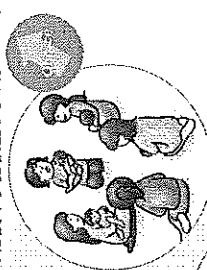
一般小・中学校 (難聴連絡指導教室)

地域の小学校で支援を受けながら学び、決まった日に特別支援学校や難聴学級で指導を受けられます。



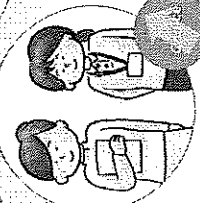
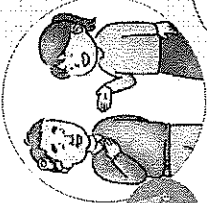
NPO団体やフリースクール

全国に難聴児やろう児を支援するNPOやフリースクールがあります。子育て相談や手話教室なども行っています。



難聴児やろう児の親の会

みなさんと同じ思いや経験をしてきた先輩ママやパパ、成人らう者や難聴者の話を聞いてみましょう。



県市区町村の窓口

福祉課や保健師さんも、いろいろな相談にのっています。地域によって、子どもを一時的に預かってくれる制度もあります。

乳幼児期の療育

*地域によって療育や療育施設は異なりますので、実際に相談しましょう。

難聴と診断されたら気盛に相談し、0歳から楽しい子育てを始めましょう。

コミュニケーション別

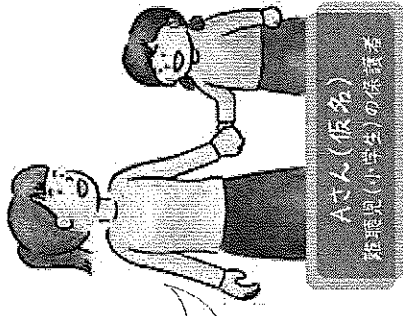
成長の選択肢を
ご紹介します!

相談相手

お子さんや保健師さんには仲間や先輩がたくさんいます。

experience

体験談 先輩たちに聞きました!



私も、我が子が難聴で生まれたときは、とてもショックでした。病院からすぐに行こう学校へ向かうと、生徒たちが手話言語で生き生きと語り合っていました。手話言語で子育てしよう!と決めた瞬間でした。その後、我が子は、ろう学校を選び、友達や先輩と手話言語で意見を交わせるようになりました。子どもの将来に不安を感じることがあるでしょう...でも、聞こえない方々や先生、いろいろな方々があなたやお子さんをサポートしてくれますよ。ともに前を向いて歩んでいきましょう!

聞こえない先輩からのメッセージ

早瀬 久美様 薬剤師
https://www.youtube.com/watch?v=y7BdLNIUCsY

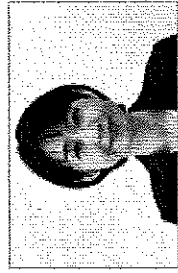
進路相談で「ろう者は薬剤師になれない」と言われました。確かに法律ではダメと書かれています。落ち込んだ私に母は言いました。「法律は人間が作ったものだから人間が変えることができる。あなたは自分の信じる道を生きなさい」といいます。私が薬剤師として誇りをもって仕事ができるのは私を支えてくれた人々のおかげだと心から感謝しています。



https://www.youtube.com/watch?v=y7BdLNIUCsY

早川 恵先生
https://www.youtube.com/watch?v=6xS1fBcSIU

聞こえない子どもは成長して聞こえない大人になります。どんな子ども時代を過ごして欲しいか、そしてどんな大人になって欲しいか、いろいろある聞こえない人たちに出席って考えてみてください。「手話」は親子間のスムーズなやりとりを成立させ、絆を深める魔法の言葉です。「手話」を使ってお子さんとのかけがえのない日々を過ごしてください。



https://www.youtube.com/watch?v=6xS1fBcSIU

ろう児・難聴児の子育てを支援します!

全日本ろうあ連盟では、日本耳鼻咽喉科学会、日本語聴覚士協会、ろう学校の先生、聞こえない子どもを育てた保護者等に協力を依頼して、2019年に「ろう乳幼児等対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、保護者のみなさんへのさまざまな情報提供をするために、本パンフレットを作成しました。

今後も、聞こえない・きこえないお子さんが、自分らしく生き生きと育つことのできる社会をめざして、活動をしていきます。

聞こえない・きこえないお子さんを持つパパ・ママのための ((情報支援ポータル))

子育てについて相談ができる相談・関係施設をご紹介します。
 又情報は随時更新していきます

<https://www.jfd.or.jp/kyosei/okosan/> 右のQRコードからアクセスください。



一般財団法人 全日本ろうあ連盟
 Japanese Federation of the Deaf

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階
 TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445
<http://www.jfd.or.jp/>



Supported by
日本 聴覚 財団
 THE NIPPON FOUNDATION
 本パンフレットは、
 日本財団の
 助成を受けて
 作成しています。